

岐路に立つ島本町

～課題と合併是非の論点～

◆広域行政の流れ

厳しい財政、清掃工場やし尿処理中間施設の老朽化など、島本町は大きな課題に直面しています。

JA(農協)や医師会、救急医療、衆議院や府議会の選挙区など、高槻市と島本町を一つの地域とする流れが強まる反面、高槻市側には広域行政を行うメリットが乏しいことも事実です。

しかし、合併の進んでいない大阪府では、橋下知事が合併推進の方針を明確にしています。

◆開かれた議論を

平成15年の住民アンケート(下参照)では、合併によるメリット、デメリットに関して、住民に十分な理解がなされていなかった、との指摘もあります。

「合併する、しない」を決断しなければ、次に進めない課題が目前に迫る中、住民にオープンな議論が求められます。

市町村合併についての住民アンケート調査

※島本町が平成15年、住民の合併に対する意識を調べるために行った調査。16歳以上の住民3千人を無作為に抽出し、回答を得た1,680件について分析した。

●賛成	20.7%
●反対	48.7%
●どちらともいえない	25.6%
●わからない	5.1%

【合併によって解決が期待される課題】

〈清掃工場〉 焼却炉の耐用年数の問題は、今後の大きな課題であるが、現状では高槻市への委託は困難。

〈し尿処理場〉 島本の処理場は老朽化が激しく、高槻市内にあるため、これ以上の存続に周辺住民が難色。

〈消防〉 広域防災や特殊車両の共用などで大きな効果。排ガス規制により、ハシゴ車を買替えるにも1億5000万円かかる。

〈保健所〉 高槻市が中核市になったことにより、茨木保健所の管轄になり、距離的に不便になった。

【合併した場合の懸念】

〈独自性〉 島本独自のぎわいが損なわれるのでは。過疎化するのではないか。名称などを含め島本の独自性が損なわれるのではないか。

〈水道〉 90%を占める地下水の割合が減るのでは。

【主な理由】

「賛成」のうち合併先として望ましい相手は、高槻市(78.2%)、大山崎町(17.6%)で、行政の効率化や、行政サービスの向上を期待する意見が多かった。

「反対」の理由は、きめ細かな行政サービスが期待できない、島本の個性が発揮できない、現状に満足している、などだった。

ケンタ 町長に聞く 最終的には住民判断で

このままでは、数年以内に基金も尽きる財政、小規模自治体に厳しさを増すインフラ整備など、島本町の現状と課題について川口裕町長に聞いた。

——島本町の課題はなんでしょうか。

川口町長「まずは財政再建です。下水道特別会計では国の基準以上に一般会計からの繰り出しが多く、限界にきています」

——し尿処理場や清掃工場も限界に近づいていますが。

川口町長「特に、し尿処理場がある東上牧周辺です。すでに下水道が整備されてお

り、近辺の高槻市民の皆様のご理解を得るのは難しい状況です。

ゴミ処理にしても、自治体の固有事務であることから、広域行政についても課題が多く、難しい状況にあります」

——合併についてのお考えは。

川口町長「小さな自治体には小さいなりの良さがあります。最終的に住民の皆さんが判断される事です」



川口裕 町長

まずは財政再建
特会の改革は急務



橋下徹 府知事

救済目的だけの
振興補助金やめる

ケンタ 知事に聞く とにかく合併してほしい

大胆な改革で、大阪府の赤字体質を抜本的に解消しようと手腕を発揮する橋下徹・大阪府知事。地方分権や道州制にもっとも熱心な知事としても知られる。橋下知事に聞いた。

——平成の大合併で全国の市町村数は半分近くになり、年間1.8兆円のコストカットが行われました、大阪府下は1件のみで全く進んでいません。

橋下知事「島本町も含め、とにかく合併を進めたいです。3年後には府下の市町村に1800の権限を委譲し、特例市並の分権を行います。大阪では距離による不利益は小さく抑えられると考えています」

——大阪府の今後の対応は。

橋下知事「合併は強制できませんが、市町村課には、救済目的だけの市町村振興補助金は出さないように指示しました」

——大阪府下の市町村に対する分権の長期ビジョンは。

橋下知事「10年後には、すべての基礎自治体に対して、中核市並の分権を行うことが目標です」